

## 【別紙④】

# 令和4年度 第34回 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）及び「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（日本スポーツ協会）、「ソフトテニス大会等の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（日本ソフトテニス連盟）等を踏まえて、第34回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会における感染拡大予防のための留意点についてまとめたものです。

今後の知見集積及び感染状況を踏まえて、随時見直すことがあり得ることにご留意ください。

## 1 大会開催前の対応等

- (1) 監督等は、大会当日に「感染防止対策チェックシート（チーム全員分）」を検温所に提出できるよう、作成しておくこと。
- (2) 会場への移動等は、各チームで責任をもって行き、集団感染のリスクを避ける。
- (3) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、監督等は実行員会事務局に速やかに濃厚接触者の有無等について報告し、関係機関に公表する場合があることを了承した上で参加すること。

## 2 大会当日の対応

- (1) 会場入場について
  - ① 引率者は、参加者の体調を確認した上で、「感染防止対策チェックシート（チーム全員分）」を検温所に必ず提出すること。
  - ② 「感染防止対策チェックシート（チーム全員分）」に記載された引率者と選手は、検温所で必ず検温した上で入場すること。
- (2) 参加者の感染防止対策について
  - ① 大会中は、競技等実施時を除いて、基本的にマスクを着用し、咳エチケットを徹底すること。
  - ② 会場内では、周囲の人との距離（できるだけ2 m。最低1 m）をできるだけ確保すること。
  - ③ 大きな声で会話、応援等はしないこと。
  - ④ 応援者は、観客席が密にならないように、できるだけ一定の距離（最低1 m）を保って観戦すること。
  - ⑤ 飲食時は、周囲の人とできるだけ距離を確保して対面を避け、会話は控えること。
  - ⑥ マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共用、使い回しを行わないこと。
  - ⑦ トイレは、密集・密接を避け使用すること。

(3) 試合中の感染防止対策について

- ① コート入退場時に、選手、監督・コーチ及び審判団は手指消毒を行うこと。
- ② 試合中には、十分な距離を確保しながらマスクを外してプレーを行うが、試合の前後では、マスクを着用すること。
- ③ コート内においても一定の距離を確保するよう努めるとともに、ペアで話をする際には、対面しないようにすること。
- ④ 試合前の練習及び試合において、密集・密接する円陣や声出しは行わないこと。
- ⑤ 試合開始前の挨拶・トス及び試合後の挨拶はネットから1 m以上離れて行うこと。
- ⑥ 試合後の選手間での握手は行わないこと。
- ⑦ ペアとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。
- ⑧ 観戦をしている者は、声を出しての応援はしないこと（拍手は認める）。
- ⑨ 団体戦においてコートに入場できるのは、選手、監督・コーチとし、待機選手、監督・コーチは一定の距離（最低1 m）を保つこと。